

○日時 令和6年5月1日（水）

14:00～14:30

○場所 本庁舎4階記者会見室

行橋市・苅田町への水道用水供給に関する

基本協定締結式

次第

1. 出席者紹介

2. 出席者挨拶

- ・ 北九州市長 武内 和久（事業概要説明）
- ・ 行橋市長 工藤 政宏
- ・ 苅田町長 遠田 孝一

4. 基本協定書署名

5. 質疑応答

6. 写真撮影

配布資料

- ・ 次第（本紙）
 - ・ 配席表
 - ・ 事業概要説明資料
- 《参考配布》
- ・ 令和6年4月24日付 北九州市プレスリリース資料

【問い合わせ先】 上下水道局 広域事業課
課長：徳永、係長：片山
電話：093-582-3144

新ビジョンに基づく メガ・リージョンの推進！
北九州都市圏域の水道基盤強化！

水道用水供給に関する基本協定の締結



行橋市



北九州市



苅田町

北九州市の多様な水源(10水源)

遠賀川水系



遠賀川河口堰

山国川水系



耶馬溪貯水池

紫川水系



ます湊貯水池


安定した水の供給！

油木ダムの貯水率低下による渇水が長年の課題



令和4年6月 荻田町広報誌より

北九州市からの水道用水供給

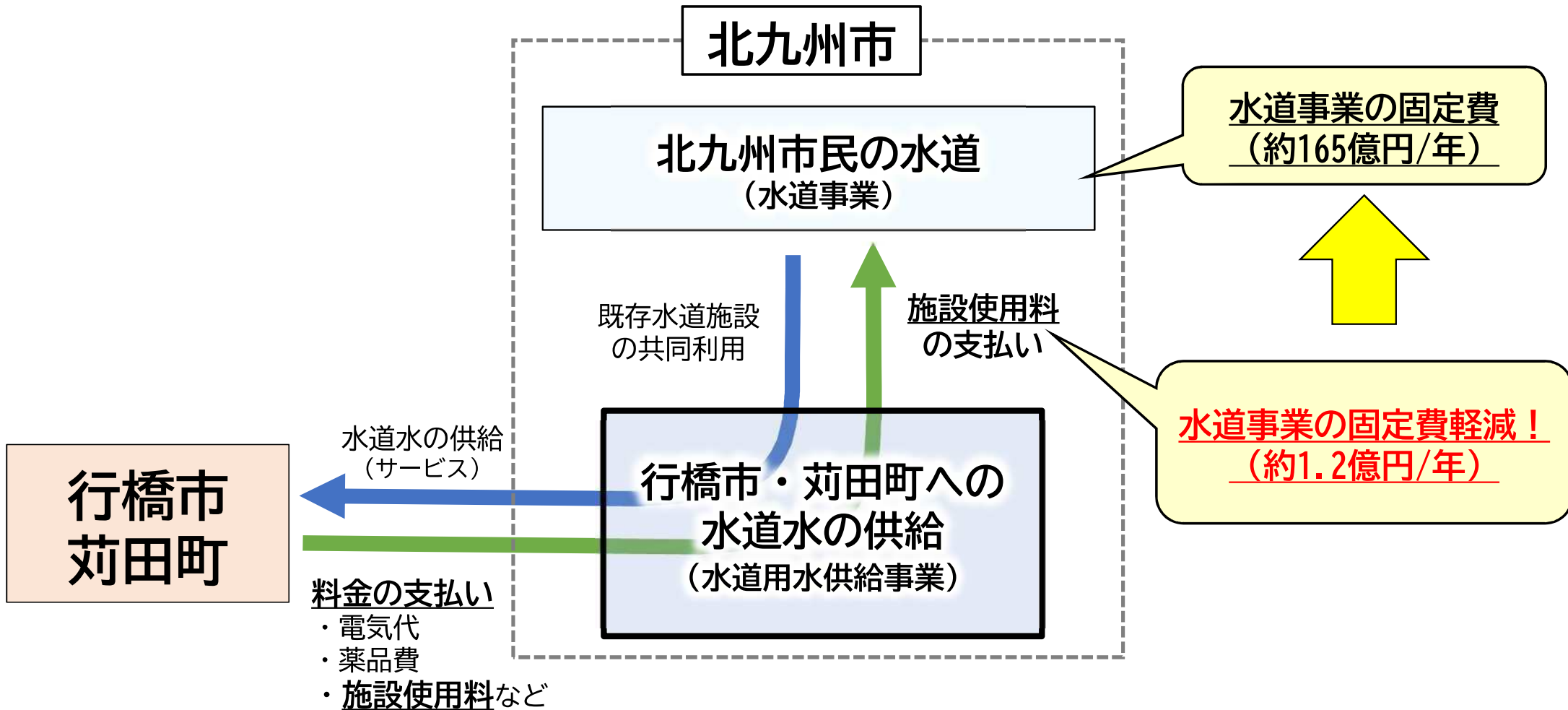
 経営の安定
(固定費軽減)

↑ ↓
Win
Win



安定水源確保

北九州市のメリット（固定費軽減）





行橋市・苅田町への水道用水供給事業

事業費 : 約41億円

事業期間 : 令和6年度～令和9年度

給水開始 : 令和10年度～

計画水量 :	行橋市	R10～	2,720m ³ /日
		R18～	7,200m ³ /日
	苅田町	R10～	2,500m ³ /日

「メガ・リージョンの推進」

報道機関各位

北九州市長・行橋市長・苅田町長による 水道用水供給に関する基本協定締結式 ～北九州市の水を行橋市・苅田町へ～

北九州市から行橋市・苅田町への水道用水供給については、広域連携の推進役である福岡県の総合調整のもと、事業化に向けて検討・協議を進めてきました。

このたび、行橋市・苅田町より正式に要請を受け、協議が整ったため、「北九州市水道用水供給に関する基本協定」の締結式を下記のとおり実施するものです。

つきましては、お忙しいところ恐れいたしますが、ご取材をよろしくお願いいたします。

※ここでの「水道用水供給事業」とは、本市が、水道事業者(行橋市・苅田町)に水道用水を供給する事業のことです。

記

(1) 日 時 : 令和6年5月1日(水) 14:00～14:30

(2) 場 所 : 北九州市役所 4階 記者会見室

(3) 出席者 : 北九州市長 武内 和久
行橋市長 工藤 政宏
苅田町長 遠田 孝一

(4) 次第 : 基本協定締結式 14:00～14:30
武内市長挨拶・事業概要説明
工藤市長、遠田町長挨拶
協定書署名
質疑応答
写真撮影

担当課による報道対応 14:30～14:45



【問い合わせ先】
上下水道局 広域事業課
担当：(課長)徳永、(係長)片山
電話：093-582-3144

北九州市水道用水供給事業（行橋市及び苅田町への拡大） 事業概要

1 事業概要

北九州市水道事業の既存施設の余力を活用して、行橋市及び苅田町に水道用水を供給することで新たな収入を確保し、水道事業の基盤強化を図るものである。

2 事業内容

- (1) 事業期間 令和6年度～令和9年度
- (2) 事業費 4,142百万円
- (3) 施設整備 送水管φ300～φ500 L≒15km等
- (4) 計画水量

供給開始	行橋市	苅田町	計
令和10年度～	2,720 m ³ /日	2,500 m ³ /日	5,220 m ³ /日
令和18年度～	7,200 m ³ /日	2,500 m ³ /日	9,700 m ³ /日

3 見込まれる事業効果

- (1) 北九州市：既存の水道施設利用による水道事業の固定費負担の軽減
- (2) 両市町：安定水源の確保、老朽化した浄水場廃止による更新費用等の削減

4 施設整備計画図

